

Anritsu Advancing beyond

長くお使いいただいた 旧モデル

VNA マスタ 後継モデルのご案内

MS2024B VNA Master	(500 kHz~4 GHz)	
MS2025B VNA Master	(500 kHz~6 GHz)	
MS2034B VNA Master	(500 kHz~4 GHz)	/Spectrum Analyzer (9 kHz~4 GHz)
MS2035B VNA Master	(500 kHz~6 GHz)	/Spectrum Analyzer (9 kHz~6 GHz)
MS2036C VNA Master	(5 kHz~6 GHz)	/Spectrum Analyzer (9 kHz~6 GHz)
MS2037C VNA Master	(5 kHz~15 GHz)	/Spectrum Analyzer (9 kHz~15 GHz)
MS2038C VNA Master	(5 kHz~20 GHz)	/Spectrum Analyzer (9 kHz~20 GHz)

お手持ちの弊社 旧モデルのVNA マスタの後継モデルをご案内いたします。
この機会に是非、最新モデルへの置き換えをご検討ください。



旧モデル VNA マスタ



後継モデル VNA マスタ

【旧モデル VNA マスタ】

MS2024A / MS2026A / MS2026B / MS2028B / MS2034A / MS2036A

【後継モデル VNA マスタ】

MS2024B / MS2025B / MS2034B / MS2035B
MS2036C / MS2037C / MS2038C

後継モデルのご案内

後継モデルの仕様は、以下の通りです。

モデル名	VNA 周波数範囲	SPA 周波数範囲	測定パラメータ他
MS2024B	500 kHz～ 4 GHz	—	1ポート、1パス2ポート Sパラメータ (S11、S21)、DTF (障害位置)
MS2025B	500 kHz～ 6 GHz	—	
MS2034B	500 kHz～ 4 GHz	9 kHz～ 4 GHz	MS2024B+スペクトラムアナライザ
MS2035B	500 kHz～ 6 GHz	9 kHz～ 6 GHz	MS2025B+スペクトラムアナライザ
MS2036C	5 kHz～ 6 GHz	9 kHz～ 6 GHz	MS2026C+スペクトラムアナライザ
MS2037C	5 kHz～ 15 GHz	9 kHz～ 15 GHz	MS2027C+スペクトラムアナライザ
MS2038C	5 kHz～ 20 GHz	9 kHz～ 20 GHz	MS2028C+スペクトラムアナライザ

* MS20xxBモデルは、タッチスクリーンディスプレイを採用しています。

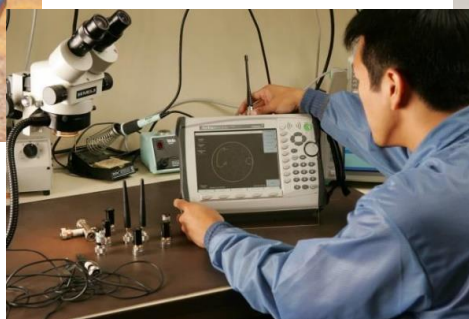
VNA Master の特長

現場でSパラメータが解析できる小型、軽量なハンドヘルドベクトルネットワークアナライザです。MS20xxBは、1パス2ポート、MS20xxCはフル2ポートVNAで、それぞれVNA機能のみのモデルとスペクトラム解析が可能なVNA+スペクトラムアナライザ機能のモデルが有り、幅広い要求に対応することができます。

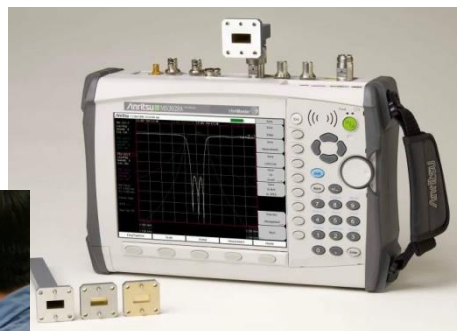
主な用途は、パッシブ/アクティブデバイスやコンポーネントのSパラ測定、レーダー、無線基地局建設、防衛関連、車載通信システムなどの測定に利用できます。



▲通信分野、屋外用途



▲一般汎用分野



▲導波管サポート (Cモデル)

本資料は、記載内容をおことわりなしに一部変更する場合があります。
また、各測定画面例の数値結果等は保証される値ではありません。規格値はカタログ/データシートをご覧ください。

アンリツ株式会社 <https://www.anritsu.com>

通信計測営業本部 営業推進部

TEL: 0120-133-099 / FAX: 046-296-1248

E-mail: SJPost@zy.anritsu.co.jp

弊社提供の資料類は、第三者への移転、輸出及び国外持出しの際には、「外国為替法及び外国貿易法」により日本政府の輸出許可や役務取引許可を必要とする場合があります。また、米国の「輸出管理規則」により、米国の再輸出許可を必要とする場合があります。法令に定められた要件に従って取り扱いいただきますようお願いいたします。